

藁科地域 学校再編についての 説明会

令和6年1月
静岡市教育委員会事務局

本日の目的

これまでの藁科地域小中学校統合準備委員会での意見等を踏まえた、市教育委員会としての対応方針を説明

- 1 藁科地域における統合準備委員会開催までの経緯
- 2 令和6年度の小学校統合について
 - (1)新しい小学校での教育活動
 - (2)通学支援策
 - (3)放課後の子どもたちの過ごし方（オクシズアフタースクールズ）
- 3 令和10年度の小中学校統合に向けて
 - (1)アンケート結果
 - (2)新しい学校施設
 - (3)今後の建設スケジュール（予定）
- 4 その他（今後議論していくこと）

1 藁科地域における 統合準備委員会開催 までの経緯

1 藁科地域における統合準備委員会開催までの経緯

これまで

令和4年

- 2月 清沢地区自治会連合会及び清沢小学校PTAから要望書提出

【要望内容】

清沢小学校を中藁科小学校に統合する。

- 2月～6月 藁科地域の2030の学校を考える会開催
 - ・こんな子どもたちが育つといいな
 - ・こんな学校ができるといいな
 - ・こんな地域になったらいいな



1 藁科地域における統合準備委員会開催までの経緯

- 9月 中藁科地区自治会連合会、清沢地区自治会連合会、各学校PTA(中藁科小、水見色小、清沢小、藁科中)から要望書提出

【要望内容】

中藁科小学校、水見色小学校、清沢小学校、藁科中学校を統合し、施設一体型の小中学校とする。

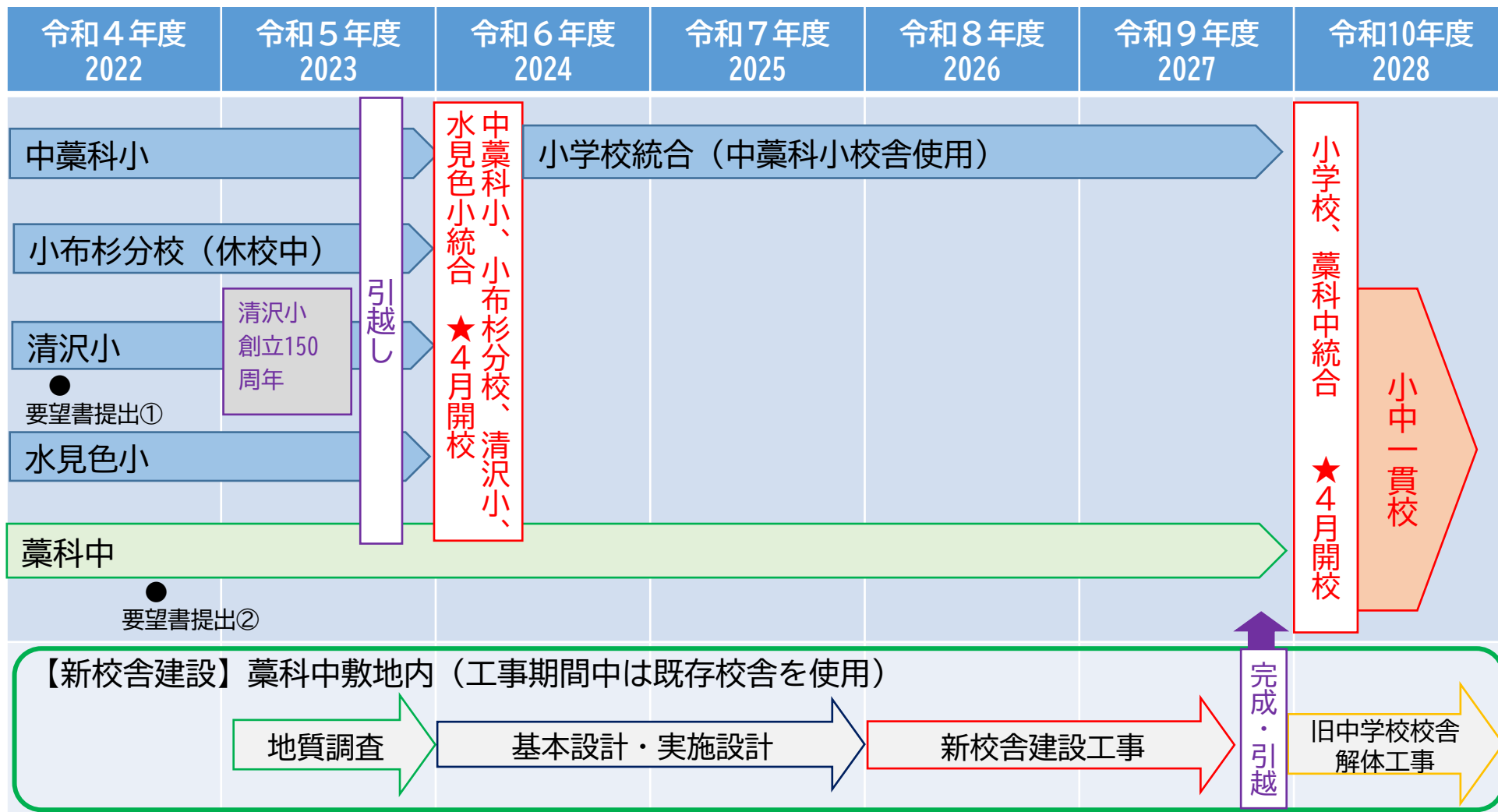
【参考】児童・生徒数（学級数） 令和5年5月1日現在

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	(参考) R10推計
水見色小学校	0	1・1 (1)		0	1・1 (1)		4 (2)	5
清沢小学校	2 (1)	0	2・4 (1)		2・8 (1)		18 (3)	9
中藁科小学校	6 (1) 特支1	11 (1)	17 (1)	6 (1)	12 (1) 特支1	7 (1) 特支2	59 (6) 4 (1)	33
小学校計	9	12	20	10	16	18	85	47
藁科中学校	18 (1)	14 (1)	16 (1)	－	－	－	48	29

- 11月 重要政策検討会議⇒本市として事業を進めることを決定 5

1 藁科地域における統合準備委員会開催までの経緯

藁科地域学校再編スケジュール(案)



1 藁科地域における統合準備委員会開催までの経緯

令和5年

- 1月25日 第1回藁科地域小中学校統合準備委員会
 - ・ 構成委員：自治会、学校PTA、学校関係者等
 - ・ 進め方の確認：会長は1年で交代、瓦版で情報発信等

現在

- 令和6年1月までに、統合準備委員会を6回開催
 - ・ 令和6年度小学校統合にかかると学校名称について
 - ・ 通学支援について
 - ・ 放課後子ども教室、放課後児童クラブについて
 - ・ 統合後の小学校での教育活動について
 - ・ 新しい学校施設に向けてのアンケートについて



等

1 藁科地域における統合準備委員会開催までの経緯



統合準備委員会の様子

第1回 藁科地域小中学校統合準備委員会を開催しました! 令和5年1月25日 午後7時~8時30分 終わらひこ

昨年、中藁科・清沢西自治会連合会からの学校統合に関する要望書の提出を受け、従来の学校統合に向けた検討を行うため、中藁科・清沢西自治会関係者や関係学校PTA役員、こども園の保護者、小中学校教職員、市教育委員会をメンバーとして設立した「藁科地域小中学校統合準備委員会」の第1回会議を開催しました。

第1回会議では、メンバーの顔合わせのほか、本委員会の運営方法、これまでの経緯と今後のスケジュール案について事務局から説明し、質疑応答、意見交換を行いました。

主なご意見は下記のとおりです。

- 「FRIの学校統合に際し、既に校舎の建設位置やデザイン等について地域の意見を聞いてもらえるか、学区がフリーになるわけではないのか。」
 - ⇒校舎の建設位置やデザイン、学区に関しては、決まっているものではなく、今後地域の皆さんと話し合いながら決定していく。
- 「学校統合に際し、先の見えない状況に子どもたちも不安を抱えているので、心のケアを先走りにお願いしたい。また、統合後の学校に統合前の学校の先生、教職員がいてくれると子どもたちも安心できると思うので、配慮いただければ嬉しい。」
- 「FRI小中学校統合後の学校名は中藁科小学校でよいのではないかと。」
- 「この場での学校名の議論は、委員各位が地域の意見を吸い上げた上で行う必要がある。」
 - ⇒各学区の地域の方々のご意見を伺い、決定していく。
- 「委員の皆さんには、地域に帰って本日の話をまとめていただき、まわりの意見を吸い上げて次回の準備委員会に臨んでほしい。」

準備委員会の様子については、開催後随時発信していきますので、今後ともよろしくお願ひいたします。

<藁科地域学校再編スケジュール案>

令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
学業開始	学業開始	学業開始	学業開始	学業開始	学業開始
小布杉分校(併設)	小布杉分校(併設)	小布杉分校(併設)	小布杉分校(併設)	小布杉分校(併設)	小布杉分校(併設)
水見色小	水見色小	水見色小	水見色小	水見色小	水見色小
中藁科	中藁科	中藁科	中藁科	中藁科	中藁科

【併行準備】 藁科中学校内(工事期間中は臨時登校者を使用)
 ① 地盤調査 ② 基本設計 ③ 実施設計 ④ 設計確認工事 ⑤ 建設工事

問い合わせ(事務局)
 藁科市教育委員会
 総務課兼教育政策課
 電話：054-354-2505
 勤務時間：立派小中学校
 電話：054-279-0120

裏紙あり→

統合準備委員会の瓦版

令和6年度

中藁科小学校(小布杉分校含む)、水見色小学校、清沢小学校を統合し、中藁科小学校とする。

令和10年度

中藁科小学校と藁科中学校を統合し、施設一体型の小中学校とする。

2 令和6年度の 小学校統合について

2 (1) 新しい小学校での教育活動

R6 薬科中グループ校 小中一貫教育構想図

薬科中学校 中薬科小学校



視点1：目標の共有

薬科中G 学校教育目標

自立する子

やりたいことを自分で見つけ、他と関わりながら自分なりの思いを持って主体的に行動する

視点2：連続性・系統性

自主自律の力

○タイムマネジメント力の育成
自分の生活を見つめ、計画的な家庭学習の実践を通して、見通しをもって生活する力を育成します。

○自発的・自治的な活動の推進
子ども発信の企画や子ども主体の運営を通して、自分たちで自分たちの生活をよりよくする力を育成します。

学ぶ力

○**「わらしな学」** **軸となる取組**
～「ふるさと薬科」の強みと願いを生かした特色ある学習～
地域の「ひと・こと・もの」に関わって探究的に学び、地域を愛する子、地域に貢献できる子を育成します。

○一人一人が主体的に学ぶ**授業**
学習の見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりすることを通して、将来にわたって学び続けることができる力を育成します。

つながる力

○さわやかなあいさつ
学校でも家庭でも地域でも、時と場に応じたあいさつの実践を通して、コミュニケーション力を育成します。

○縦割り活動の充実
学年や校種を超えた交流を通して、多様な考えに触れながら、コミュニケーションの幅を広げ、相手や集団のことを考えた行動ができる力を育成します。

視点3：協働・交流

児童生徒の交流活動

○小学校と中学校の交流
児童会生徒会活動の協力・協働、各校の行事への参加などを通して、小中のつながりを深め、自己肯定感や自己有用感を育成します。
・わらしな学習発表会
・薬科中一日体験入学（6年）
・薬科中「芝生祭」への協力
・お茶摘み体験

教職員の協働

○薬科中G小中一貫教育全体会（年3回）
「軸となる取組」を中心に研究協議や意見交換を行い、系統性や連続性を確認しながら、9年間のゴールの子どもの姿を全職員で共有します。また、令和10年に向けた新しい学校における取組も協議していきます。
・授業参観
・「わらしな学」授業研修会、研究協議
・新しい学校における取組の協議

視点4：地域連携

地域に開かれた学校

地域活性化に向け、小中学生が協働しながら企画などに参加し、地域と連携し、地域を生かした教育活動を実施します。
・地域の方を講師に迎えた特別授業
・地域イベントでの協働
・学校応援団、健全育成会活動など

学校統合等準備委員会

小中学校の校長、教頭、自治会代表、PTA代表、学校評議員等で組織し、子どもの実態および学校や子どもへの願い、教育活動への支援、地域と学校との協働について協議し、令和10年の統合に向けて準備します。

●小中一貫教育薬科中グループの教育構想に基づいた活動

◎R6学校教育目標

『自立する子』

- ・ 自主自律の力
- ・ 学ぶ力
- ・ つながる力

○R6小学校の重点目標

『自分で決めて やりぬく子』

→ 子どもたちの心の安定優先

2 (1) 新しい小学校での教育活動

学ぶ力

軸となる取組

○わらしな学

～「ふるさと藁科」の強みと

願いを生かした特色ある学習～

地域の「ひと・こと・もの」
に関わって探究的に学び、地域
を愛する子、地域に貢献できる
子を育成します。

<地域を舞台にした活動>

- 4月 中藁科紹介
- 5月 水見色散策デー
- // 清沢散策デー
- 1・2年生 生活科学区探検
- 3年生 社会科地域調べ
- 3～6年生 わらしな学

清沢地区



中藁科地区



水見色地区



2 (1) 新しい小学校での教育活動

令和6年度 わらしな学

★ 学習のテーマ・目指す姿・フィールド・学習の材(財) ★

学年	1・2年	3・4年	5・6年	中1・2・3年
目標	自立する子 ～やりたいことを自分で見つけ、 他と関わりながら自分なりの思いをもって主体的に行動する児童・生徒～			
めざす姿	わらしなに 進んで親しむ姿	わらしなを知り、 進んでかかわる姿	わらしなの理解を深め、進 んで良さを発信する姿	わらしなの未来を創造し、 わらしなに貢献する姿
テーマ	わらしなの 自然・人・行事	A : わらしなの 福祉 B : わらしなの 自然環境(生き物)	A : わらしなの 歴史・伝統文化 B : わらしなの防災	令和5年度と 同じ
学習の フィールド	わらしなの地域全体			わらしなの地域全体 + 地域外
学習の材 (財)	わらしなのひと・こと・もの			

2 (1) 新しい小学校での教育活動

令和6年度 静岡市立中藁科小学校 週日課表				
月	火 English Day	水	木 家庭道徳の日	金
8:00	健康観察・朝の会(5分)			
8:20	読書/読み聞かせ 字級 いちよう班活動	朝学習(15分) 算数	集会 字級 いちよう班活動	朝学習(15分) 国語
9:05	1校時(45分)			
9:15	休み時間(10分)			
9:45	2校時(45分)			
10:00	休み時間(10分)			
10:10	3校時(45分)			
10:55	休み時間(10分)			
11:05	4校時(45分)			
11:50	給食・虫歯き(40分)			
12:30	清掃(10分)	量休み(25分)	清掃(10分)	清掃(10分)
12:40	量休み(15分)	量休み(15分)	量休み(15分)	量休み(15分)
12:55	5校時(45分)			
13:40	帰りの会(10分)	1~2年 帰りの会(10分) 3~6年 休み時間(10分)	帰りの会(10分)	1~3年 帰りの会(10分) 4~6年 休み時間(10分)
13:50	子ども教室	子ども教室	子ども教室	子ども教室
14:00	子ども教室	6校時(45分) 3~6年	子ども教室	6校時(45分) 4~6年
14:45	子ども教室	帰りの会(10分)	子ども教室	帰りの会(10分)
15:00				
15:30	15:30 完全下校			

令和6年度 日課表

- 8:00 始業
- 11:50 給食
- 12:55 5時間目開始
- 13:50 放課 (5時間の日)
- 14:45 放課 (6時間の日)

- 放課後子ども教室
- 放課後児童クラブ

2 (2) 通学支援策

令和6年4月の通学方法・支援策

		清沢		水見色
		久能尾号	湯ノ島号	
登校	路線バス	路線バス	路線バス	送迎車
下校	路線バス	路線バス	路線バス	路線バス

● 清沢地区

- ・ 登下校は路線バス
- ・ 通学定期券購入代金の補助あり

● 水見色地区

- ・ 登校は送迎車（乗車運賃は無料）
- ・ 下校は路線バス（デマンドバス）
- ・ 路線バスの運賃を補助



2 (2) 通学支援策

登校時

	清沢		水見色
	久能尾号	湯ノ島号	
7:17		乗車(鍵穴)	
7:26	乗車(久能尾)	↓	
	↓	↓	
7:30~ 7:40頃	到着(中藁科こども園前)		乗車(水見色)
	↓	↓	↓
7:50頃	学校到着		

下校時

	清沢		水見色
	久能尾号	湯ノ島号	
	(バスの時間に合わせて) 学校出発		
			↓
15:11	↓		乗車(中藁科 こども園前)
15:15	乗車(中藁科 こども園前)	↓	↓
15:51	↓	乗車(中藁科 こども園前)	↓

- 路線バス運行の状況等を確認しながら、引き続き、令和10年度に向けて検討していく。

2 (3) 放課後の子どもたちの過ごし方

令和5年度までの放課後の過ごし方

●放課後子ども教室

地域の方々による社会教育

所管課	教育総務課
設置目的	<ul style="list-style-type: none">・全児童を対象に、安全安心な子どもたちの放課後の活動の場を創出・学びの機会や体験の場を提供し、自主性、創造性を育成・異学年児童、地域の運営スタッフとの交流活動を通し、社会性を育成・学校・家庭・地域が連携して子どもを育てる環境を作り、地域教育力を向上
対象児童	1～6年生 全児童 ※保護者の就労状況は問わない
開設数	小学校81校/83校 (R5.4.1)
活動場所	校庭・体育館・図書室・特別教室等
実施日	平日 ※日数、時間等は学校や地域の状況に応じ設定
実施時間	放課後～概ね16:30 (完全下校時間)
利用料金	原則無料 ※原材料費等の実費徴収あり
スタッフ	地域住民の方々によるボランティア
業務形態	地域住民で組織された実行委員会に委託

2 (3) 放課後の子どもたちの過ごし方

令和5年度までの放課後の過ごし方

●放課後児童クラブ

保護者の
就労支援

所管課	子ども未来課
設置目的	<ul style="list-style-type: none">・放課後に保護者が就労等のため、家にいない者に対し安全な遊びや生活の場を提供し、健全育成を図る（平成27年度より 全児童が対象）・保護者の就労やワークライフバランスの確保の支援
対象児童	1～6年生児童 ※入会にあたり保護者の就労や疾病、介護状況等の審査あり
開設数	84施設（R5.4.1）※この他、静岡市内には民間事業者によるクラブが14箇所
活動場所	児童クラブ室（余裕教室・独立棟）、児童館等
実施日	葵・駿河区・蒲原東・由比地区 平日、土曜日、長期休業期間
実施時間	平日（正午～最大19:00）、土曜日・長期休業日（8:00～最大19:00）
利用料金	葵・駿河区・蒲原東・由比地区 9,500円（延長18～19時+100円/日） ※長期休業日は12,000～17,400円
スタッフ	放課後児童支援員（有資格者）、補助支援員
業務形態	葵・駿河区・蒲原東・由比地区は静岡市社会福祉協議会に委託

2 (3) 放課後の子どもたちの過ごし方

令和5年度までの放課後の過ごし方

● 小学校の状況

清沢小学校	
●児童数	18人
児童クラブ	設置なし
放課後子ども教室	週4日

水見色小学校	
●児童数	4人
児童クラブ	設置なし
放課後子ども教室	週1日

中藁科小学校	
●児童数	63人
児童クラブ利用者	平日14人、長期休業時24人
放課後子ども教室	週2日

2 (3) 放課後の子どもたちの過ごし方

令和6年度からの放課後の過ごし方

子ども教室と児童クラブを一体化



藁科地区の子どもたちのために、地域の方々には
引続き、見守りやプログラム提供へのご協力をお願いいたします。

3 令和10年度の 小中学校統合に向けて

3 (1) アンケート結果

どんな子どもに育ててほしいか

※類似した内容の回答を集約

- 1 周りの人を大切にする、思いやりがある、協力できる
- 2 地域を大切にする、誇りに思う

このほか「自分から積極的に学ぶ、行動する」「挨拶がしっかりできる」
「明るい、活発、健やかに育つ」等

新校舎に求める機能

※アンケート結果を踏まえ集約

- 1 子どもたちの学ぶ意欲を引き出す
- 2 安全安心ですべての人に優しい
- 3 環境や風土へ配慮する
- 4 長く使い続けられ、柔軟性がある



3 (2) 新しい学校施設

新しい学校施設イメージ

①子どもたちの学ぶ意欲を引き出す藁科地域の魅力ある学校

子どもたちが自らの意欲をもって学ぶ環境が充実した施設を目指します。

また、“わらしな学”などにおいて地域交流とともに特色ある教育により藁科地域の魅力を伝える施設を目指します。

②安全安心ですべての人にやさしい学校

児童、生徒、教職員、地域住民等のすべての人が利用しやすいよう、ユニバーサルデザインに配慮した安全に過ごすことができる施設を目指します。

また、子どもたちが心を落ち着かせることができる施設を目指します。

③環境や風土に配慮した学校

藁科地域の周辺環境や風土と調和した建物配置と2階建てを目指します。

また、木のぬくもりにより藁科地域の地場産業の魅力や、温暖化への意識、脱炭素社会への貢献を体感できる施設を目指します。

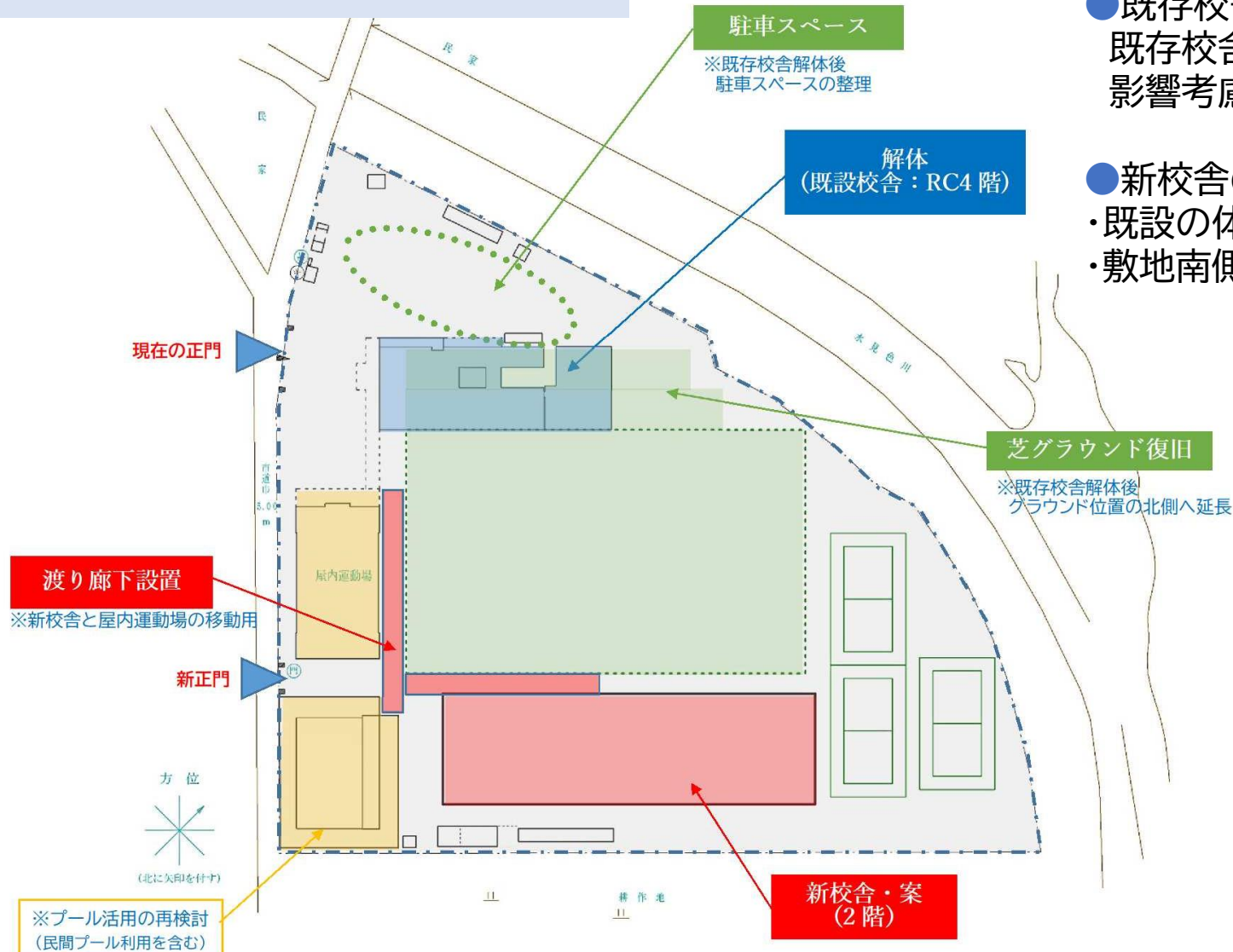
④長く使い続けられる柔軟性のある学校

教育内容の変化や児童・生徒数の変動に対応する柔軟性、機能性の高い施設を目指します。

また室内環境や耐久性を確保し、長く使い続けられる施設を目指します。

3 (2) 新しい学校施設

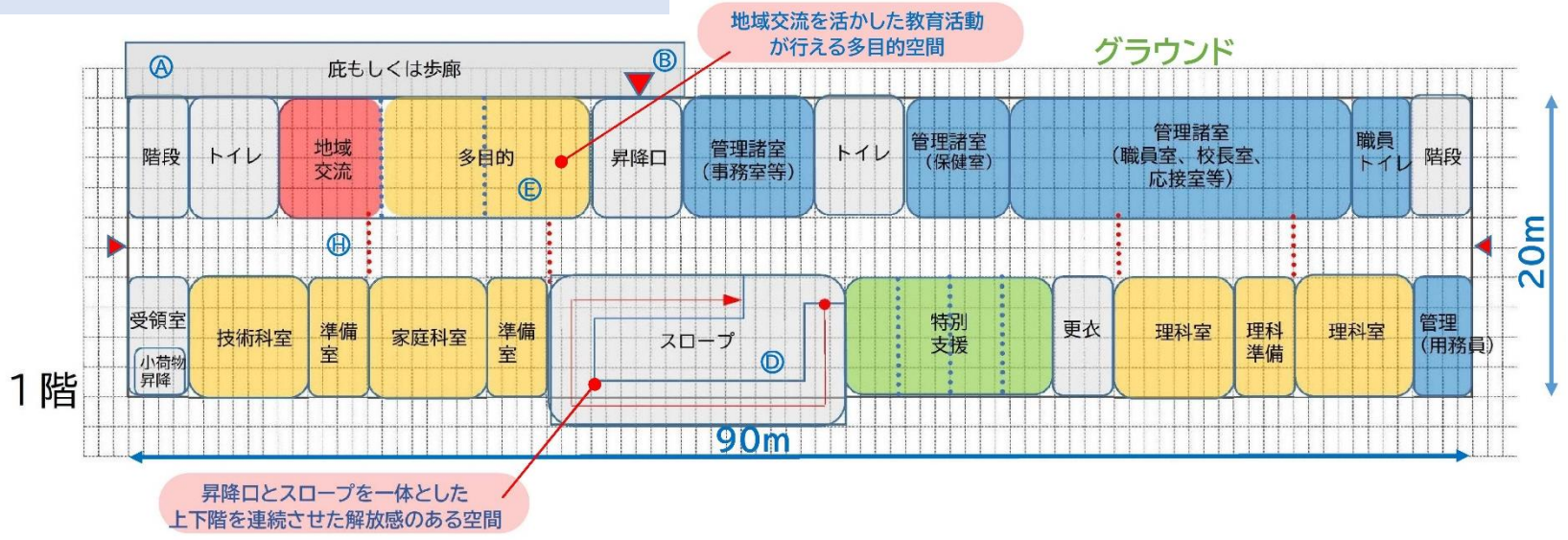
配置計画 (案) の概要



- 既存校舎を使いながらの新校舎建設
既存校舎と距離をとり、学習活動への影響考慮。
- 新校舎の配置
 - ・ 既設の体育館とプール利用を考慮
 - ・ 敷地南側への校舎配置で見晴らし確保

3 (2) 新しい学校施設

平面計画1階(案)の概要



凡例：

- 普通教室 (Green)
- 特別教室 (Yellow)
- 管理諸室 (Blue)
- 地域交流室 (Red)
- 共用部 (Grey)
- 可動間仕切り(廊下) (Red dotted line)
- 可動間仕切り(室) (Blue dotted line)



A【木のぬくもりの外装と外からのアクセスのイメージ】
(参考：魚津市星の杜小学校)



D【校舎内スロープのイメージ】
(参考：静岡市歴史博物館)



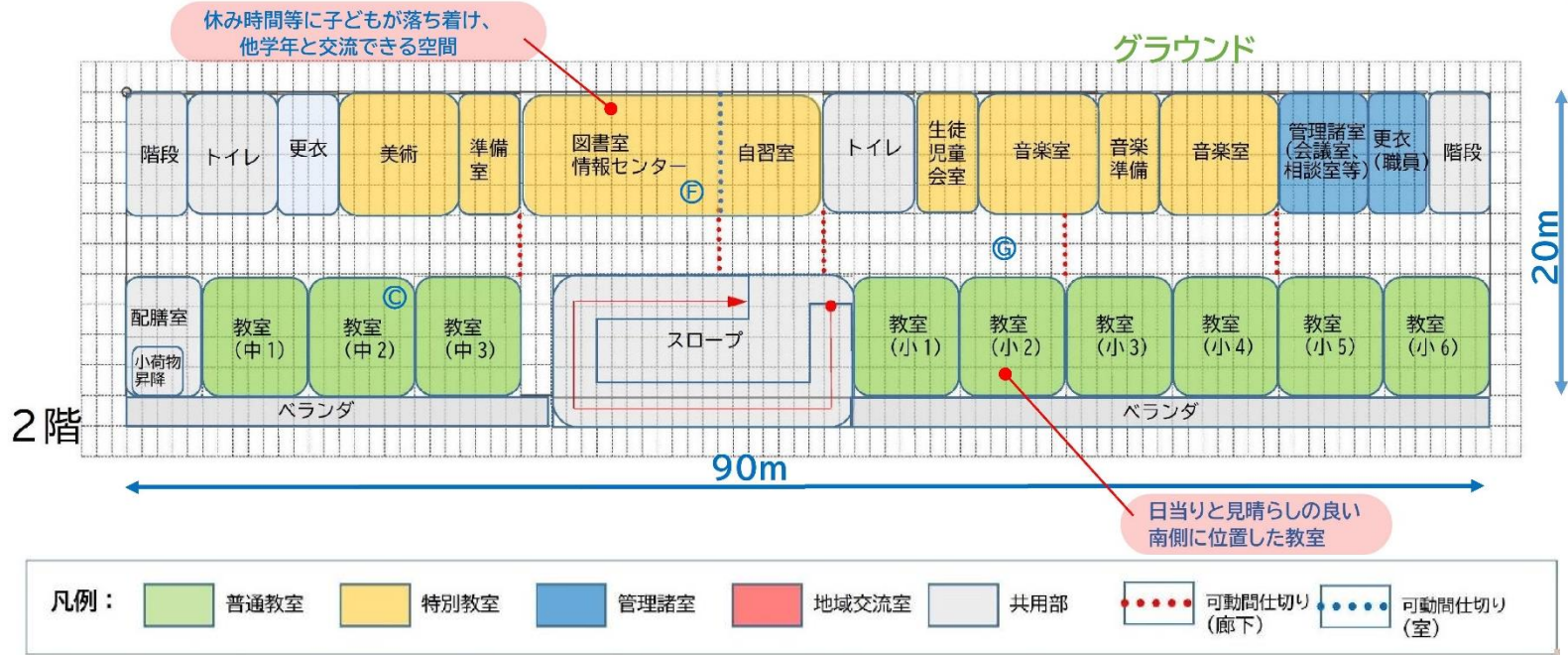
E【柔軟で創造的な学習環境のイメージ】
(出典：「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について」文部科学省)



H【木のぬくもりの内装と利用区画の分割のイメージ】
(参考：魚津市星の杜小学校)

3 (2) 新しい学校施設

平面計画2階(案)の概要



C【木のぬくもりと普通教室のイメージ】
(参考:魚津市星の杜小学校)



F【図書室とICT室と自習室を
組み合わせた情報センターのイメージ】
(出典:「新しい時代の学びを実現する学校施設の
在り方について」文部科学省)



G【木のぬくもりの普通教室と
広めの廊下のイメージ】
(参考:魚津市星の杜小学校)

3 (3) 今後の建設スケジュール (予定)

令和6年度 3小学校が統合
新校舎の基本設計

令和7年度 実施設計

令和8～9年度 建設工事

令和10年度 施設一体型の小中学校開校

※最短スケジュール見込み

4 その他

(今後議論していくこと)

4 その他（今後議論していくこと）

（1）統合準備委員会で議論していくこと

- 9年間を通して子どもたちを育てていくために、小中一貫校、義務教育学校等について研究・検討
- 学校名、校歌、校章等についても検討

（2）各小学校の跡地利用について

- 市長部局ほか関係課と一緒に、今後本格的に検討
- それぞれの地域の意見を伺っていく。
- 峰山小学校、小布杉分校については、民間活力導入のためのサウンディング等を実施